

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	05	みやまえ太鼓ミーティング開催事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691700		まちづくり推進部地域振興課			川上	65355

事業の概要										
事業の概要		地域の魅力である文化・伝統の再認識と民俗芸能等を活用した地域コミュニティの促進を目的に、区内の太鼓演奏団体を一堂に会した「響け！みやまえ太鼓ミーティング」を継続開催します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業費		
		平成12年度		—						
地域の課題と現状		宮前区は昼間人口が少なく、地域のつながりが希薄となっていることについて、第1期区民会議で指摘されるなど、宮前区の特徴を活かし、人と人とがつながるコミュニティを形成していくことや、円滑に地域文化・伝統を継承していくことが課題です。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1,936	1,397							
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		0	0							
		1,936	1,397							

計画 (Plan)	
事業の目的	地域の魅力である文化・伝統を再認識し、民族芸能等を活用した地域コミュニティの促進に取り組みます。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●区民主体のイベントとすることで、区民や団体、地域間の交流を促進し、地域の一体感を図ります。 ●区内の中学校や保育園等にも協力してもらうことで、伝統文化の継承を促進します。 ●ゲスト出演者によるワークショップを開催し、太鼓団体のスキルアップを図ります。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		区内外11太鼓団体の参加と、保育園・中学校等の協力により、区制40周年記念事業として「第22回 響け！みやまえ太鼓ミーティング」を3年ぶりに開催しました。公演時間の短縮化や、独自のガイドライン策定など感染対策を厳重に行う中で、900人の来場者があり十分に効果があったと考えます。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 成果指標	来場者数	目標	900	1,500	1,500	1,500			人
			実績	900						
	2		目標							
			実績							
3		目標								
		実績								
4		目標								
		実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区民を主体とした文化・伝統芸能、民俗芸能の保存と継承には、市民活動団体相互の交流支援や促進、情報の共有、活動場所の提供等の支援が必要となっています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		伝統文化の創造・継承として、太鼓ミーティングから発生した楽曲「なつの風」の継承に取り組んでいます。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	イベントへの区内中学校等の参加意欲の高さや、観覧者アンケートの回答等から、伝統文化に触れるニーズや興味は高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	天候や感染症の状況等により来場者数は変動しますが、宮前区の夏の風物詩としてイベントが定着しており、感染症対策による各種の規制も緩和されていく中、一定数以上の来場者が見込まれると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	ゲストによる公演やワークショップを取りやめることで経費の削減は可能ですが、イベント自体の魅力が薄れ、夏の風物詩としての役割が果たせなくなることが予想されます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	伝統芸能に関する区内最大規模のイベントであり、宮前区の夏の風物詩として定着していることから今後も継続して開催します。また、太鼓だけではなく、区内に伝わる民俗芸能の紹介の場にもなっており、地域や近隣学校等との連携を強化しながら世代交流も図りつつ、地域文化・伝統の継承に貢献します。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	10	地域の魅力発信事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		川上・穴澤	65355	

事業の概要										
事業の概要		宮前区には歴史文化、自然、都市農業、市民活動等の魅力的な資源が数多くありますが、区民にあまり知られていないことから、隠れた地域資源の魅力に関する情報の収集・整理と、マップ作成やイベント等による効果的な情報発信を行うことで、区民の地域への関心や愛着心を深め、郷土愛の醸成につなげます。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費					
		平成20年度	—							
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> ●当事業により、区民に区の魅力を再発見してもらい、地域への関心や愛着心を深めてもらうとともに、地域づくりやまちづくりに対する参画を促すことが期待できます。 ●昼間人口比率の低い宮前区において、区外を日常の生活圏としている人が多く、地域をよく知らない区民が多いと考えられるため、地域魅力を再認識し、共有してもらうことが地域づくり、まちづくりに必要となります。 ●第2期区民会議において、宮前区は歴史文化、自然、都市農業、市民活動等の魅力的な資源は多いが、区民にあまり知られていないことが課題と指摘されています。 								
予決算 (単位:千円)	年度	財源内訳	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費		630	610						
	国庫支出金		0	0						
	市債		0	0						
	その他特財		0	0						
	一般財源		630	610						

計画 (Plan)	
事業の目的	●地域資源を紹介するマップ等の配布や、マップを活用したウォーキングイベントの実施を通して、より深い地域資源への理解を促します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区歴史文化調査委員会に委託し、歴史ガイドマップの改訂やウォーキングイベントを実施します。 ●宮前区まちづくり協議会に委託し、区内農業に関する情報を掲載したマップを活用したウォーキングイベントを実施します。また、区内農業の魅力を発信する農フォーラムを開催します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度	3	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った 								
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前歴史ガイドを2種改訂し、計12,000部作成・配布しました。また、歴史文化に係るウォーキングイベントを2回開催しました。 ●農に係るウォーキングイベントを2回開催しました。また、農フォーラムを開催し、会場及びオンライン視聴を含め約50人が参加しました。 									
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位			
	1	活動指標 宮前歴史ガイドを活用したウォーキングイベントの開催	目標	2	2	2	2	回		
			実績	2						
	2	活動指標 農家巡りウォーキングの開催	目標	2	2	2	2	回		
			実績	2						
3	活動指標 農フォーラムの開催	目標	1	1	1	1	回			
		実績	1							
4		目標								
		実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	地域への愛着を深めるために、継続した情報の収集と整理、効果的な広報等の啓発活動が必要です。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和元 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	宮前区の歴史的遺産を把握し、新たに旧石器時代出土品が市の重要歴史記念物に指定された「鷲ヶ峰遺跡」を年表に盛り込んだ「宮前歴史ガイド」(マップ)の改訂版を発行しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	ウォーキングイベントは申込み当日に定員に達するなど、人気のあるイベントとなっており、区内の歴史文化や都市農業等への関心、ニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	募集の都度、毎回希望超過になるほどウォーキングイベントへの市民ニーズは高く、また、実施後の参加者アンケートの評価も高いことから、活動の成果が上がっていると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	ウォーキングイベントにおいては、受益者負担の観点から令和3年度実施分から参加者1人につき保険料及び資料代として費用を徴収し、事業の経費削減につなげています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I 宮前区の魅力を再発見し、地域への関心や愛着心を深め、郷土愛の醸成につなげるためには、引き続き、事業を継続して実施していくことが必要と考えます。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	25	宮前区スポーツ推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		藤塚	65360	

事業の概要										
事業の概要		健康を維持するために、区内スポーツ施設、川崎市または宮前区にゆかりのあるトップアスリートを活用し、スポーツ等を気軽に親しむ環境づくりをします。また、地域に根ざした総合型地域スポーツクラブへの理解と協力を促します。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業				
		—	—							
地域の課題と現状		区内スポーツ施設数が十分とはいえない中で、事業に参加した区民のスポーツや健康づくりの継続が課題です。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	2,370	2,363							
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		425 1,945	408 1,955							

計画 (Plan)	
事業の目的	健康寿命延伸に向けた、子どもたちの体力向上、高齢者の健康づくりやコミュニケーションの場づくりをします。
今年度の事業の取組内容	フロンタウンさぎぬまとの連携事業、ふれあいスポーツ事業を実施します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		・フロンタウンさぎぬま連携事業では、4メニューを実施し、計741人が参加しました。また、新規に実施した2メニューを含め、生涯スポーツの普及・振興及び運動機会の提供に繋がることができました。 ・宮前ふれあいスポーツ事業では、メロコス体操の普及イベントやニュースポーツ体験、スポーツパートナーとの連携事業など、新たな事業の展開を実施することができました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	成果指標	フロンタウンさぎぬま連携事業	目標	900					
				実績	741					
	2	活動指標	宮前ふれあいスポーツ事業	目標	150					
				実績	108					
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		アフターコロナに即した運動の機会を引き続き提供していきます。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 <small>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>		・フロンタウンさぎぬま連携事業は、毎年新規メニューを導入するなど、様々なスポーツに触れ合う機会の拡充に努めている ・宮前ふれあいスポーツ事業は、ウォーキングマップや宮前ふれあいスポーツブックの作成などを行いました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	長引くコロナの影響により、運動の機会を求めるニーズは高まっている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	生涯スポーツの普及・振興等に寄与していると考えられるため、一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	両者それぞれの特性を活かせるよう連携を推進する。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	フロンタウンさぎぬま、総合型地域スポーツクラブと連携を図りながら事業を継続することが適切であると考えられます。また、アフターコロナを見据え、ニーズに即した新たななる運動機会の提供を実施していくことが望ましいと思われま。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称				
款	項	目	大	中	小					
11	01	06	26	05	30	地域情報発信事業				
担当			所属コード			所属名			担当者	連絡先
			691650			まちづくり推進部企画課			滋野	65121

事業の概要										
事業の概要		地域への愛着や関心を高めるため、地域のイベントや伝統行事、様々な地域資源を盛り込んだ冊子等による情報発信を行います。主に転入者等へ配布する宮前区の地域情報冊子「ぐるっとみやまえ」については改訂を行います。さらに、ガイドマップを発行し、区内の主要施設・防災拠点等の基礎情報の周知と共に、区の魅力発信を行います。また、「宮前兄妹」(2012年度誕生)など区の魅力をアピールするイメージキャラクターの貸出やグッズ作成等を効果的に運用します。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業					
		—	—							
地域の課題と現状		地域社会における住民相互の関係が希薄化する中、住民が地域に関心をもち、自ら参加していくためには、さまざまなメディアの活用による効果的な情報発信が必要です。イベントや伝統行事など地域で行われている活動や、区が実施している取組は数多くありますが、それを知る手段が少なく、区民会議においてこの課題について議論・提案が行われた経過があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	3,290	2,544							
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財		264	264							
一般財源	3,026	2,280								

計画 (Plan)	
事業の目的	地域資源を掘り起こし、その魅力を発信することで、区民の地域への愛着や関心を高め、地域活動への参加を促進し、地域コミュニティの活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	みやまえガイドマップの改訂・発行、「ぐるっとみやまえ」の改訂・発行、PRキャラクター(宮前兄妹・カッチちゃん)の貸出・グッズ作成を行います。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		ガイドマップの発行、区民が作成する情報誌「ぐるっとみやまえ」について改訂・発行など、区の魅力を効果的な情報発信に努めました。区のPRキャラクターについては、区制40周年の契機に併せ、今後の啓発に向けたグッズ作成を行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	目標								
		実績								
	2	目標								
		実績								
3	目標									
	実績									
4	目標									
	実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		インターネットが普及し、様々な情報媒体が存在する中で、効果的な情報発信のあり方を検討して行く必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和 4 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		様々な情報媒体があるなかで、情報発信のあり方を整理し、平成27年度末で「歳時記みやまえ」を、令和4年度末に「ぐるっとみやまえ」廃止しました。今後も、既存の刊行物等について、効果的な情報発信のあり方を検討しつつ整理します。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民一人一人が地域への愛着・関心をもつことが地域の様々な課題を解決していく糸口となることから、地域の活動や魅力的な地域資源の情報を発信する必要性は、ますます高まっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	刊行物の配架先施設を増やした結果、手に取る区民が確実に増えています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	広報媒体への広告募集・掲載を増やすことにより、さらなる歳入を得る可能性があります。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	様々な広報媒体を効果的に組み合わせて、今後とも情報発信に取り組みます。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	35	みやまえカルタ活用事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691700		まちづくり推進部地域振興課			竹原	65358

事業の概要										
事業の概要		歴史や文化、自然等の地域資源をとりあげた、「みやまえカルタ」の活用を通して、世代間・地域間等の交流促進を図り、地域コミュニティの活性化につなげる。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業		
		平成22年度		—						
地域の課題と現状		都心のベッドタウンとして発展し、核家族化が進み、市外への通勤・通学者が多い宮前区では、地域への興味や愛着が薄れがちであるため、それぞれが日々暮らして過ごす地域を知ることにより、地域への関心や愛着を高めることが求められています。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	5	0							
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		0	0							

計画 (Plan)	
事業の目的	宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱くきっかけ作りとして、「みやまえカルタ」を各地域に定着させ、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとするため、幅広い世代への啓発活動とカルタの販売・貸出を継続して推進していきます。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●地区カルタ、記念カルタの販売と貸出の広報活動の推進 ●区内で開催されるイベント等における販売活動やカルタ展示等による普及促進

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱くきっかけ作りとして、「みやまえカルタ」を各地域に広め、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとなるよう、幅広い世代への啓発活動とカルタの販売(7組)・貸出(5件)を推進しました。								
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
		1		目標						
				実績						
		2		目標						
				実績						
3		目標								
		実績								
4		目標								
		実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域への愛着や関心が希薄となる傾向のある中で、区内外に誇れる資源を幅広い世代に伝えるとともに、情報発信を推進するためみやまえカルタの役割は将来に渡って重要なものとなっています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(令和5年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		事業経費の執行がないため、令和5年度歳出予算の計上を見直しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	幅広い世代へ宮前区の地域資源を継続して広める必要があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	カルタの販売は一定のニーズを保っており、イベント用には大型版の貸出も継続します。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	事業経費の執行がないため、令和5年度歳出予算の計上を見直しました。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱くきっかけ作りとして、「みやまえカルタ」を各地域に定着させ、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとするため、幅広い世代への啓発活動とカルタの販売・貸出を継続して推進します。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	40	宮前区ふるさと意識高揚アーカイブ事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		まちづくり推進部企画課		滋野	65121	

事業の概要										
事業の概要		第4期宮前区区民会議において、人とのつながりや地域への帰属意識の希薄化、市民活動の認知度向上等が課題として議論され、各世代の文化や体験、記録を共有すること等を目標に、「区誕生40周年、市制100周年に向けたアーカイブ事業の実施」が提案されました。これを踏まえ、区役所内において検討を重ね、事業化するに至りました。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業		
		平成25年度		未定						
地域の課題と現状		様々な世代間交流の活動や社会的・文化的資産など地域資源に関する情報は、各団体等がバラバラに所有しており、包括的な収集・保存・活用は行われていません。放っておけば散逸の恐れがある地域資源の記録を世代間で保存・伝承していく必要があります。また、まちの形成史を適切に把握・保存することは、今後のまちづくりに関する取り組みを行う上でも重要といえます。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	120	91							
	財源内訳									
	国庫支出金	0	0							
	市債	0	0							
	その他特財	0	0							
	一般財源	120	91							

計画 (Plan)	
事業の目的	世代間交流の活動を記録し、共有することで、世代間交流に対する参加意識の醸成をはかります。また、地域資源の記録を世代間で保存・伝承していくことで、宮前区へのふるさと意識を高めます。区誕生40周年、市制100周年を見据え、関係局等の動きも踏まえ事業の方向性を検討します。
今年度の事業の取組内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めながら、区民の目に直接触れる機会の提供を検討します。また、引き続きアーカイブに関する各局区の動向の把握を実施します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		事業展開方法を検討し、効率的・効果的な収集・管理の実施に努めました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めながら、区民祭で展示するとともに、宮前図書館と連携したアーカイブを公園等で展示しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	区民の目に直接触れる機会の提供(展示等)	目標	1	1	1	1	回	
				実績	9					
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		区制40周年だけでなく、市制100周年も見据えた全市的な動きを考慮しながら、宮前区としての取り組みの方向性を検討する必要があります。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近)平成 27 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		平成27年度は庁内で試行的に写真を収集し、当初、平成28年度以降は区民からの写真の収集等を検討していましたが、効率的・効果的な事業実施のため、実施手法を見直しました。		
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	地域資源や地域活動を適切に記録し、世代間で保存・伝承していくことが求められています。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	区ホームページ上での写真の公開の他、宮前図書館と連携してアーカイブを公園等に展示しました。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由	区ホームページ上に「みやまえデジタルミュージアム」を開設したことで、大幅なコスト負担なく、運用していくことができている。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	「みやまえデジタルミュージアム」やパネル展の公開資料・写真を充実させ、広く区民の目に触れる機会について検討します。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	45	宮前区市民提案型総合情報発信事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		まちづくり推進部企画課		上中	65121	

事業の概要

事業の概要		区における地域の文化、自然等の資源(地域資源)の価値を改めて見出すとともに、地域資源を活用して当該地域の魅力を高め、区民が愛着を持って地域資源を継承していくため、宮前区の区域内で事業活動その他の活動を行う団体と宮前区役所が協働して区の魅力を情報発信ための事業を行います。							
実施期間		事業開始年度 令和4年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業	
地域の課題と現状		情報発信の媒体が多様化する中でより効果的な情報発信の方法を取り入れる必要があります。そのため、既存の枠組み・組織にとらわれることなく区民が区に関わる仕組みを構築し、広報効果の高い手段をより柔軟に取り入れることができるように提案型事業として、区民と協働して区の魅力・情報を発信する必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,449	2,387						
財源内訳	国庫支出金	0	0						
	市債	0	0						
	その他特財	0	0						
	一般財源	2,449	2,387						

計画 (Plan)

事業の目的	区における地域の文化、自然等の資源(地域資源)の価値を改めて見出すとともに、地域資源を活用して当該地域の魅力を高め、区民が愛着を持って地域資源を継承していくことを目的とします。
今年度の事業の取組内容	区の魅力・情報を発信するための事業を採択し、提案団体と協働で事業を実施します。また、事業実施の初年度であるため、事業の実施方法や提案団体、審査会委員との調整の仕方等について検討します。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	事業実施団体がそれぞれ違った角度からアプローチを行うことで、より効果的な魅力・情報発信を行うことができました。これまでは冊子や動画での情報発信が多かったですが、イベントを実施したことでメディアにも取り上げられるなど、イベントを通じた情報発信の可能性を感じることができました。また、区役所事業との連携や地域での新たなつながりの創出や場所の活用のきっかけを創出することができ、事業の目的を果たせたと考えます。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標 実施事業数	目標	3	2	2	2	事業
			実績	3				
	2		目標					
			実績					
3		目標						
		実績						
4		目標						
		実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	区域内の活動団体等と協働した効果的な区の魅力・情報発信に対するニーズは高まっており、継続して事業を展開していく必要があります。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(令和5年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	令和4年度の実施内容を踏まえ、事業の実現性等をより詳細に把握するために企画提案書等の様式を修正しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区域内での活動団体等による事業提案を受け、これまでとは違った角度からの広報を行うことができ、より効果的な魅力・情報発信ができたと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	事業実施数について、目標値を達成するなど、一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業実施の初年度であるため、事務手続き等については見直しの上、改善を図っていくことが必要と考えます。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	区における地域の文化、自然等の資源(地域資源)の価値を改めて見出すとともに、地域資源を活用して当該地域の魅力を高め、区民が愛着を持って地域資源を継承していくためには、引き続き、区域内での活動団体等と協働して事業を実施していくことが必要です。より効果的な発信となることを目指して、さらなる改善を図っていきます。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	05	花と緑のあふれる住みよいまちづくり事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		穴澤	65354	

事業の概要									
事業の概要		花苗支援等を通じて、緑化活動団体の活動の活性化と、団体相互の交流を推進させることにより、区民による花と緑のあふれるまちづくり(緑化活動)の促進、区内の緑化団体・公園管理団体の拡充を行います。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
		平成23年度		—					
地域の課題と現状		現在、区内の公園においては自主管理団体(緑化活動団体)が個別に活動し、また、3割の公園においては、地域による自主管理がされていない状況にあります。第4期宮前区区民会議においても、公園を地域コミュニティの核として活用することが求められており、地域管理の促進とネットワーク化が必要です。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	1,380	1,337						
	国庫支出金	0	0						
	市債	0	0						
	その他特財 一般財源	0	0						
		1,380	1,337						

計画 (Plan)	
事業の目的	区内緑化活動団体へ花苗の支援を行うとともに、緑化促進に関する講座等を開催することで、区内の緑化推進及びコミュニティの醸成を図ります。
今年度の事業の取組内容	●区内の公園・公有地内にある花壇を自主管理している緑化活動団体に花苗等を提供します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		●区内の公園・公有地内にある花壇を自主管理している緑化活動団体に花苗の提供(34団体あて、7,851株)を行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	成果指標	区内花壇管理団体に対する花苗支援数	目標	9,000	9,000	9,000	9,000	株	
				実績	7,851					
	2	成果指標	花苗等の支援を行っている緑化活動団体数	目標	35	35	35	35	団体	
				実績	34					
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域のつながりの希薄化や高齢化に伴い、コミュニティづくりに寄与する活動が求められています。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 平成30年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		新規花壇管理団体の育成支援について、一定期間広報した結果、これ以上の花壇作成希望者は現れない見込みであることから、新規花壇管理団体への支援を平成30年度を以って終了としました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域で緑化活動を行う市民活動団体は、財政基盤が弱いため、自主管理を進める上でも花苗支援の必要性は高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	緑化活動団体からの花苗支援の希望数は増加しており、区内の公園等の適正管理と緑化が進み、結果として区のイメージアップにつながっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	市民との協働事業として実施しており、これ以上の役割分担の見直し、経費削減は困難であると考えられます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 令和6年度に予定されている全国都市緑化かわさきフェアに向けて、緑化活動団体とのさらなる連携が求められていることもあり、今後も区内の公園の適正な管理と緑化の促進のため活動団体への支援の継続は必要です。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	10	まちづくり推進事業費			
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先		
			691700	まちづくり推進部地域振興課		川上・瀬越	65355		

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎市市民活動支援指針」や「宮前区区づくりプラン」に基づき、行政主導ではなく区民主体のまちづくりを推進し、市民活動団体の活動が活性化するような環境を整備する必要があります。 ●区内で活動する市民や市民活動団体を「つなぐ・むすぶ・ひろげる」という中間支援機能を持った宮前区まちづくり協議会と協働して取り組むことで、市民活動団体を情報面、資金面等から支援するとともに、団体間の交流や連携を促進し、地域の活性化を図ります。 							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業			
		平成9年度	—						
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区まちづくり協議会の持つ中間支援機能により、地域で活動する市民活動団体等のネットワーク化を推進し、市民活動の活性化や地域の人材育成を図ることができ、地域が抱える課題解決にも取り組むことにより、区民主体のまちづくりを推進することができ、行政と協働のまちづくりに貢献しています。 ●社会状況の変化によって地域が抱える課題も変わるため、区民自身がより主体的にその解決に向けて取り組む必要があります。 ●「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」で示された方針を踏まえて、まちづくり推進組織と行政との関わりを見直しを進める必要があります。 							
予決算 (単位:千円)		R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
事業費		3,480	3,425						
財源内訳									
国庫支出金		0	0						
市債		0	0						
その他特財		0	0						
一般財源		3,480	3,425						

計画 (Plan)	
事業の目的	●区民主体の組織であるまちづくり協議会が市民活動の場や運営資金の提供、情報発信等の支援を実施することにより、区内市民活動団体の活動が活性化され、地域のまちづくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動の活性化を図るため、市民と行政とが連携・協働した事業を展開します。 ●地域に対する意識向上や魅力発見、まちづくりへの理解を深めるため、各種イベントや講座を開催します。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った 						
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ●24の市民活動団体の育成を目的とした資金支援を実施しました。 ●まちづくり広報紙を全6回発行しました。 ●スキルアップ研修の実施(1回)と団体間の交流の場の提供(1回)による活動の活性化等を図りました。 ●区内市民活動団体の活動発表の場として、まちづくり広場ラブみやまを11月にリアルで開催しました。 							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	広報紙「まちづくり広場」の発行	目標 6 実績 6	6	0	0	回
	2	活動指標	まちづくり広場ラブみやまの開催	目標 1 実績 1	1	1	1	回
	3	成果指標	資金支援交付団体数	目標 20 実績 24	20	20	20	団体
	4			目標 実績				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	平成31年3月策定の「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」で示された方針を踏まえて、まちづくり推進組織と行政との関わりを見直しを進めています。		
事業の見直し・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実施 (直近) 令和 4 年度 ■ 今後実施 (令和6年度から) 		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	<ul style="list-style-type: none"> ・「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を踏まえて、まちづくり協議会への行政からの人的・予算的支援を見直すこととなりました。 ・令和6年度以降もまちづくり協議会は自主運営で組織を継続する方向性となったため、経過期間の令和5年度中に新たな組織の体制や行政との関係性等の整理を行います。 		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区内市民活動の活性化のため、まちづくり協議会を通じた市民活動団体への情報や資金提供などの中間支援は今後も引き続き必要であると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	新たな市民活動団体を支え、地域課題の解決につながる情報発信や資金支援などの活動を行っています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	まちづくり協議会がこれまで実施してきた各種事業について、引き続き、令和6年度以降も区役所と協働する事業と市民活動として自主運営する事業とに分類し、適切な連携のあり方への見直しを行います。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 今後も区内における市民活動活性化に向けて資金や現物の支援、活動発表や交流の場の提供、情報発信等の支援を実施する必要があります。また、まちづくり協議会がこれまでに積み上げてきた成果等が今後の区政にもしっかりと引き継がれるよう関係者との丁寧な協議を通じて検討を行います。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	15	まちづくり支援事業費			
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先		
			691700	まちづくり推進部地域振興課		瀬越	65355		

事業の概要										
事業の概要		地域にとらわれない外部の立場からの提案や助言及び情報提供等は、区民との協働のまちづくりを推進していく上で必要不可欠であり、区民主体の組織である宮前区まちづくり協議会の活動が効率的・効果的になるよう側面から支援します。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業				
		平成20年度	—							
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり協議会委員の構成、年齢、経験等を踏まえた、協議会活動の今後の継続性や、コミュニティに係る状況変化に対応した、適切なコンサルティングが求められています。 ●「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」で示された方針を踏まえて、まちづくり推進組織と行政との関わりを見直しを進める必要があります。 								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
	事業費	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
		その他特財	0	0						
一般財源	2,717	2,717								

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動団体の相談対応、活動を発展させる情報、ノウハウの提供等ができる事業者にはコンサルティング業務を委託することで、宮前区まちづくり協議会の活動を側面から支援します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●中間支援機能を持つまちづくり協議会が円滑に活動できるよう適切なコンサルティング業務を行います。 ●まちづくり協議会の理事会等の会議やイベント等の運営支援を行います。 ●まちづくり協議会と行政との新たな協働や連携のあり方を検討します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	年間約50回の会議に参画し、企画支援、市民活動の活性化のためのノウハウ・資料の提供、行政への助言の他、チラシ、ポスター作成支援など、まちづくり協議会の適正な活動につながる支援を行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1			目標					
				実績					
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	平成31年3月策定の「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」で示された方針を踏まえて、まちづくり推進組織と行政との関わりを見直しを進めています。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 令和 4 年度 ■ 今後実施(令和5年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	まちづくり協議会に関わる活動のうち、コンサルタントに委託する範囲を徐々に圧縮して経費削減に努めています。令和5年度は、まちづくり広場ラブみやまへのコンサルティング分を圧縮します。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	b
	評価の理由	「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を踏まえ、まちづくり推進組織に対する行政の関わり方について見直しを図る必要があるため。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を踏まえ、まちづくり推進組織に対する行政の関わり方について見直しを図る必要があるため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を踏まえ、まちづくり推進組織に対する行政の関わり方について見直しを図ることと合わせて、コンサルタントへの委託業務についても見直ししていく必要があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II これまで、まちづくり協議会の適正な組織運営や会議進行、団体支援等につながる助言や提案、情報提供等を得ることで、区内の地域活動の活性化が図られてきましたが、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を踏まえ、宮前区においても、まちづくり協議会と行政の関わり方について見直しを図っており、その動きと合わせて、コンサルタント業務についてもそのあり方を見直ししていく必要があります。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	20	みやまえスポーツふえすていばる開催事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		森山	65351	

事業の概要										
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ●地域で行われているソフトボール、バレーボールやドッチビー等のスポーツ大会を企画し、実施することで競技レベルの向上を図るとともに、チームを越えた区民同士の親睦の場を創出します。 ●地域スポーツを促進し、区民がスポーツに触れる機会の拡充を図るために、自主的に行われているスポーツ大会を区長賞の贈呈により支援します。 								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業				
		—	—							
地域の課題と現状		地域で支え合うまちづくりは、非常に重要ですが、区民同士が知り合いになる機会が不足しているため、スポーツを通じて、区民同士が交流できる機会を創出し、地域の活性化やコミュニティを形成していく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費	1,797	1,579						
		国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		0	0							

計画 (Plan)	
事業の目的	スポーツに親しみ、楽しむことは、体を動かすことによる爽快感だけでなく、健康・体力の維持増進や人と人との地域における一体感をもたらす効果を期待することができます。地域でのスポーツ大会を地域が主体的に企画・運営することで、スポーツを通して区民同士が交流を深めスポーツ等に親しみ機会をつくり、地域コミュニティの活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	女子バレーボール大会(宮前区・宮前地区・向丘地区)、ソフトボール大会(宮前地区・向丘地区)、ドッチビー大会(宮前区・宮前地区・向丘地区)、歩こう会(宮前地区・向丘地区)、ディスクパーウォークみやまえ(宮前地区・向丘地区)、区長賞贈呈

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		一部の大会は感染状況を鑑みて中止にした事業もありましたが、日程を変更して練習試合や親子体験会を実施し、また、参加チームにボールや区制40周年記念グッズを配布することで、スポーツの普及啓発や競技レベルの維持・向上に繋がりました。区長賞を4団体(5大会)に交付しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	全参加者	目標	600	900	1,200	1,500	人
				実績	623				
	2			目標					
				実績					
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症により、子どもが外で集まって活動する時間や機会と地域コミュニティ活動が減少しています。		
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		平成29年度に実施競技をフットサルからドッチビーに変更し、宮前・向丘地区大会及び区大会を実施しています。		
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	地域コミュニティなどの活動が減少していることから、各種大会のニーズは高いと思われます。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	ドッチビーやバレーボール用品の配布は、各チームから「今後も配布してほしい」と反響があり、今後の大会参加につながると思われます。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある		a
	評価の理由	委託団体と協議を進め、現在の生活様式に合わせた事業実施方法や企画内容の検討を進めます。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	各種大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、記念品の配布などの代替手段を実施しました。今後も幅広い世代・地域の区民に参加してもらうため、開催方法等を見直ししながら、事業を継続することが必要と考えます。(ウイズコロナの中で、感染防止対策を第一に、状況に応じて適切に実施します。)

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	25	多様な主体が参画する子どもあそびランド事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691750		まちづくり推進部生涯学習支援課		徳原	888-3911	

事業の概要										
事業の概要		子どもや中高生、シニアなど多様な市民が参画する「夏休み子どもあそびランド」を開催し、遊びを通じた多世代及び多文化交流を図ります。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業				
		平成23年度	—							
地域の課題と現状		多様化する地域課題の解決に向けて、世代間交流や多文化交流の場を提供することにより、多様な市民による、活性化した地域コミュニティを創造する必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	546	294							
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		0	0							
		546	294							

計画 (Plan)	
事業の目的	小学生・中学生・高校生・大学生・成人・高齢者・障がい者といった多様な市民同士が交流する場の提供を目的とします。
今年度の事業の取組内容	市民館全館を使って「夏休み子どもあそびランド」を開催し、日本に古くからある遊びや、缶バッチづくり、非日常空間である大ホールでの遊び体験などを通じて、多様な市民の交流を行います。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		・8月20日(土)、21日(日)に宮前市民館全館を使用し実施しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、事前申込制にするなど適切に対応しました。 ・ホールでのストラックアウトや図書館を含めた全館でのクイズラリーなどを、多世代間交流を目的に実施し、学生ボランティアや地域の達人(大人ボランティア)と来場者が、遊び体験などを通じて交流を図りました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	成果指標	来場者数	目標	1,000	1,500	1,500	1,500	人
				実績	980				
	2			目標					
				実績					
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域におけるつながりづくりが求められており、幅広い年代の企画委員への参加や、子どもたちに多彩な遊びを提供し、継承できる新たな若い世代の遊びの達人の発掘、育成が必要です。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 4 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		・学生サポーターをベースでの達人の手伝い等だけではなく、自分たちでイベントを考え企画し「クイズラリー」を実施した。 ・前年度の学生サポーターとの来年度に向けた調整などを、あそびランド終了後年度中から行うことで様々な次年度の企画の検討や、市民館と地域学生との継続的な繋がりが始まり始めた。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	幅広い年代・多様な立場の市民が地域で交流することは、引き続き重要と考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	企画委員、遊びの達人及び学生ボランティアを新規に集めることで、新たな交流を生み出しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	企画運営委員会に委託する現在の方式が、区内の多様な人材の参加を得る上で望ましいと考えます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
引き続き、多様な人たちの交流の機会となるよう、内容や方法を工夫しながら事業を継続します。また、交流を広げ、地域コミュニティ創造の一助とするために、企画運営委員会や遊びの達人、サポーターの新たな人材を募集していきます。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	30	地域活動の促進に向けた人材育成及び推進体制の整備事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691750		まちづくり推進部生涯学習支援課			徳原	888-3911

事業の概要										
事業の概要		地域人材の育成と活用を進めるため、宮前区地域人材育成指針に基づき、区役所各課が連携したモデル事業を行います。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業				
		平成23年度	—							
地域の課題と現状		区の事業実施に必要な人材や市民活動の担い手の確保が難しく、地域への広がり弱い状況にあることから、講座等を通じて育成した人材を実際の活動につなげ、活用していく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	124	41							
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		0	0							
		124	41							

計画 (Plan)	
事業の目的	地域課題の解決に向けて、区民が主体的に取り組めるよう、地域で活動する人材を育成することを目的とします。
今年度の事業の取組内容	様々な市民が地域活動に関わることのできるテーマを設定し、実践的な内容の講座を行います。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		危機管理担当と連携し、災害時にどのような備えが必要なのか、自分たちの生活している地域で自分にはなにができるのかを学習し、新たに災害時に地域活動ができる人材の育成を目的とした「防災についてもう一度見つめ直してみませんか〜備えは地域で〜」を3月2日〜23日(木)に3回の連続講座で実施しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	講座実施数	目標	1				回
				実績	1				
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域人材の担い手不足による高齢化、固定化が進んでおり、新たな人材の発掘・育成を進める必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 3 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		毎年度、様々な地域活動の中から事業内容を検討しています。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域活動や市民協働に向けた地域の人材育成は、継続的に取組む必要があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	事業趣旨に沿った内容であり、関係課が連携した取組により課題を共有し、講座により区民の地域活動への第1歩とすることができました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	関係課と連携し、有効な手法について引き続き検討していく必要があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 関係課と連携・協議しながら、地域活動への参加と地域の人材育成に向けて、引き続き事業を継続していきます。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	35	市民活動支援拠点のネットワーク事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		川上、穴澤	65355	

事業の概要									
事業の概要		市民活動拠点を中心とした地域のコミュニティづくりを推進するとともに、市民活動団体の活動支援や、団体相互の交流促進を図るため、区民活動支援コーナー等の運営支援、情報発信を行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業費			
		平成22年度	—						
地域の課題と現状		地域のコミュニティづくりを進めるにあたり、市民活動団体の活動は重要な役割を担っていますが、活動場所の確保や情報の発信、他団体との連携において、その機会や情報が不足している状況にあります。							
予決算 (単位:千円)	財源内訳	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		事業費	239	237					
		国庫支出金	0	0					
		市債	0	0					
		その他特財	0	0					
一般財源	239	237							

計画 (Plan)	
事業の目的	市民活動の活性化のため、区役所、市民館及びこども文化センター等にある市民活動拠点の周知や、活用の促進を図るとともに、施設機能面での充実も進めます。
今年度の事業の取組内容	各支援コーナーに対し、印刷機器賃借料支出等の運営支援を行います。また、各支援コーナー等の利用率が感染症の影響で下降傾向にある中、市民活動拠点の情報をホームページに掲載するなど、稼働率アップに向けた情報発信を行います。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		コロナ禍により使用上の制約等がある中で、市民活動の活性化のため、各支援コーナーに対する印刷機器賃借料支出など、適正な運営支援を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1 成果指標	宮前区役所区民活動支援コーナー登録団体数	目標	50	50	50	50	団体	
			実績	49					
	2 成果指標	宮前区役所区民活動支援コーナー稼働率	目標	30	30	30	30	%	
			実績	33					
3 成果指標	向丘地区区民活動支援コーナー登録団体数	目標	40	40	40	40	団体		
		実績	38						
4		目標							
		実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域の課題が複雑化していくなか、市民活動の重要性が増してきていることに伴い、活動場所の確保や情報を提供する支援コーナーの必要性が増してきています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	長期に渡るコロナ禍の影響により直近での登録団体数や稼働率は減少していますが、地域活動が活発になってきている中、各支援コーナーの会議室、印刷機等の利用団体のニーズは高いものと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	コロナの影響で登録団体数、会議室の稼働率は若干減りましたが、印刷機の稼働率は43%と高く、各支援コーナーの需要は確実にあり、市民活動の活性化につながっていると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	各支援コーナーの管理運営については区民主体で行っており、予算のほとんどが印刷機のリース代ですが、適宜、仕様の見直し(経費節減)に努めます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 市民活動の活性化には、印刷機などの活動資本や会議室など場の提供は必須であるため、仕様の見直し等に努めながら今後も継続していく必要があります。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	40	みんなの道路公園事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			696100		宮前区役所道路公園センター		松本	75560	

事業の概要									
事業の概要		快適環境の維持向上を図ることにより、公園緑地が「地域の庭」として愛着を持って利用され続けることを目指します。 ●管理運営協議会、公園緑地、街路樹等の愛護会及び町内会自治会との協働による清掃活動 ●区内小学校の協力を得て、公園緑地内の樹木への小学生による樹名板の設置作業 ●汚損や破損をした園名板の計画的な更新							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
		28年度		—					
地域の課題と現状		地域に対する意識の希薄化、区民の高齢化等により協働の担い手不足が進行しており、地域コミュニティの活性化、協働の推進及び協働の担い手の育成が必要です。 区内約220公園のうち80公園程度の園名板が汚損や破損をしており、その更新が必要です。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	840	839						
	財源内訳								
	国庫支出金	0	0						
	市債	0	0						
	その他特財	0	0						
	一般財源	840	839						

計画 (Plan)	
事業の目的	公園のイメージアップに加え、愛護精神に基づく公園の管理活動の一層の推進を図ります。
今年度の事業の取組内容	●公園の管理運営協議会、公園、街路樹等の愛護会及び町内会との協働による清掃活動。 ●区内小学生による公園内の樹木への樹名板の設置作業。 ●汚損している園名板の更新。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		●7月に有馬2丁目公園において、愛護会との協働清掃、活動メンバー募集ポスターの作成及び掲示を行い、10月及び2月に宮前美しの森公園において、愛護会との協働清掃を実施しました。 ●管生緑地で予定していた樹名板の設置イベントについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止としました。 ●汚損している園名板について、宮崎こもれびの丘公園他6か所の更新を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	成果指標	区民との協働による清掃活動回数	目標	3				回
				実績	3				
	2	成果指標	樹名板の取付参加者数	目標	20				人
				実績	19				
3	成果指標	汚損している園名板の更新数	目標	5				基	
			実績	6					
4			目標						
			実績						

評価 (Check)									
事業を取り巻く社会環境の変化		地域の身近な問題解決に向けた区民参加、協働による取組及び地域への愛着の醸成が求められています。							
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 3 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)							
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		園名板の更新について、園名板を取り付ける支柱が再利用できるものは、園名板のみを作成することにより経費を抑え、設置基数を目標より2基増やすことができました。							
評価項目				評価					
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている		a			
	評価の理由			協働の担い手不足が進行しており、地域コミュニティの活性化策の推進が必要です。					
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか			a. 上がっている b. 上がっていない		a			
	評価の理由			協働清掃の実施により愛護団体の活動の維持及び活性化が図られました。また、区のシンボルマークを表示した園名板の更新により、公園のイメージアップが図られました。					
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか			a. 可能性はない b. 可能性はある		a			
	評価の理由			協働清掃及び樹名板設置事業については、職員2名のみで実施しており、人員の削減は困難です。園名板の更新については、看板の作成のみを業務委託して設置工事は職員が行うことにより、経費を抑えています。					

改善 (Action)									
今後の事業の方向性	方向性区分		方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性					
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了		I	今後も、地域コミュニティの核としての公園の利活用を進めるため、区民との協働による公園の樹木への名札取付や公園の清掃活動を通して、愛護活動団体の設立支援及び活性化を図ります。また、区のシンボルマークを表示した園名板の更新により、イメージ向上を図ります。なお、イベント開催については、新型コロナウイルスによる影響を考慮しながら実施していきます。					

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	45	町内会・自治会加入促進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		森山	65351	

事業の概要										
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ●区内の町内会・自治会の加入促進活動を支援するため、町内会・自治会の役割やエリア図を掲載した「宮前区 町内会・自治会ガイドブック」を改訂・増刷し、宮前区への転入者に区民課窓口で配布します。 ●令和元年度に実施した子育て世代へのアンケート結果を踏まえ、将来の地域活動の担い手である子育て世代に向けたリーフレットを作成し、地域のさまざまな活動で配布することで、町内会活動への共感を促し、加入促進につなげます。 ●多世代交流の活性化や町内会・自治会加入促進に向けて実施する「みやまご近助ピクニック」における景品として、川崎フロンターレとのコラボグッズを作成し、地域住民のイベントへの積極的な参加を促す。 								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業			地域コミュニティ活性化事業			
		平成28年度	—							
地域の課題と現状		町内会・自治会は、地域のコミュニティ形成における中心的な役割を担っており、高齢者や子どもの見守り活動、自主防災組織の設立・運営など、安心・安全なまちづくりを推進していく上で、非常に重要な役割を果たしています。一方、町内会・自治会役員の高齢化や担い手不足などが課題となっているほか、町内会・自治会への加入を負担と感じる世帯が増えるなど、市民のコミュニティに対する意識が変化してきています。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
		事業費	838	385						
		財源内訳	国庫支出金	0	0					
		市債	0	0						
その他特財	0	0								
一般財源	838	385								

計画 (Plan)	
事業の目的	高齢者の見守りや災害時の助け合いなど地域の支えあいに関与している町内会・自治会への加入を促進し、区民が地域でつながり、心豊かに安全・安心な生活を送れるように支援します。
今年度の事業の取組内容	宮前区全町内・自治会連合会との意見交換を踏まえて「町内会・自治会ガイドブック」を改訂(増刷)し、区内への転入者に向けて配布します。また、令和元年度に実施した子育て世代へのアンケート調査結果を踏まえてリーフレットを制作し、区内各地での多世代交流イベントなどでの配布を通じて、町内会・自治会と子育て世代との接点を増やします。多世代交流の活性化等に向けて実施する「みやまご近助ピクニック」における景品として、川崎フロンターレとのコラボグッズを作成し、イベントへの積極的な参加を促します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		地域の情報を必要とする転入時のタイミングをとらえ、全ての転入者に「町内会・自治会ガイドブック」を配布することで、的確に町内会・自治会に関する情報を提供できるようにしました。子育て世代が町内会・自治会に関心を持ちきっかけとなるよう、子育て世代向けのリーフレットを作成し、イベント等で配布しました。どちらの配布資料も、在庫で納めたこと、町内会・自治会の分会による図面の修正が生じる可能性があったため、追加印刷は行いませんでした。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1 成果指標	町内会・自治会ガイドブックの作成	目標	10,000	10,000	10,000	10,000	部	
			実績	0					
	2 成果指標	子育て世代向けリーフレットの作成	目標	5000	5000	5000	5000	部	
			実績	0					
	3		目標						
			実績						
	4		目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		少子高齢化が進む中で、地域での助け合いや子どもから高齢者を含めた多世代での支え合いは大切なものであると改めて見直されており、地域コミュニティの中核を担う町内会・自治会の重要性も増してきています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和 3 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		令和元、2年度に子育て世代向けに実施した調査結果を基に、子育て世代の暮らしの視点から町内会・自治会の活動を紹介するリーフレットを作成し、町内会の加入促進について支援を行いました。平成30年に「町内会・自治会ガイドブック」の仕様を、町内会・自治会関係者の意見を踏まえて掲載内容を見直し、また、全転入者に配布できるよう改善しました。また、令和3年度にさらに掲載内容を見直し、宮前区近所情報サイト「みやまご近助さん」の情報を掲載し、インターネットに親しむのある世代に向けた情報を掲載しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	川崎市では地域包括ケアシステムを推進しており、少子高齢化が進む中で、地域での助け合いや支え合いは大切なものであると改めて見直されてきています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	全ての転入者に配布していることで、町内会・自治会に関する問い合わせが増えました。また、「みやまご近助さん」を通じた加入希望も増えてきており、掲載内容の見直しを行ったことで、一定程度の周知が図られています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	引き続き、町内会・自治会と連携し、効果的な啓発方法や内容などを見直しながら加入促進に努めます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
町内会・自治会加入促進ガイドブックを制作・配布するとともに、子育て世代が集まる機会でもリーフレットを継続して配布していくなど、町内会・自治会加入促進に向けた支援策を検討・実施します。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	50	区民祭開催経費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691600		まちづくり推進部総務課		岸	65111	

事業の概要										
事業の概要		地域や各種団体、世代間の交流促進や地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域への関心や愛着を育てていくため、誰もが気軽に参加できる、区民の手づくりによる区民祭を開催します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業		
		昭和57年度		—						
地域の課題と現状		少子高齢化の進行、核家族や単身世帯の増加、隣近所との関係の希薄化などの課題に対し、身近な地域での助け合いや地域課題の解決に協働して取り組む必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		事業費		245		245				
		財源内訳	国庫支出金	0	0					
			市債	0	0					
			その他特財	0	0					
一般財源	245		245							

計画 (Plan)		3
事業の目的	区民祭の開催を通して、地域や各種団体、世代間の交流促進や地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域への関心や愛着を育てていきます。	
今年度の事業の取組内容	区民がより親近感や達成感を感じることができる区民祭の実施に向けて、区民と区役所との協働により取り組みます。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら、開催します。	

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じ、3年ぶりに区民祭を開催しました。出店やステージ出演など、多くの区民や団体と協働して実施し、約5万人の来場がありました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	開催回数	目標	1	1	1	1	回
				実績	1				
	2			目標					
				実績					
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		令和8年度以降、宮前市民館及び図書館が鷺沼駅前に移転する予定です。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 <small>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>		平成26年度以降、会場を北部市場から宮前区役所及び宮前市民館に移し、開催しています。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症等に配慮し、来場者や出演者が密にならないようにレイアウト等を変更し、安全にイベントを実施しました。宮前市民館・図書館、宮前区役所の移転に伴う区民祭の開催方法について今後検討が必要となります。	
		評価項目	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民祭への参加希望や開催日に関する事前の問い合わせは多く、関心が高いと考えています。地域団体や区民と区役所が協働して取り組み、地域への関心や愛着を育てていくには重要な機会と考えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区民祭後も様々な地域イベントが催され、地域コミュニティの活性化につながっていると考えています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	区民や地域団体と協働し、活気あふれる区民祭として発展させるため、前年度の課題を検証し解決に向け取り組んでいます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
		これまでの課題や今後の課題を検証し、地域のニーズを踏まえた見直しや改善を行いながら、継続することが望ましいと考えています。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	55	みやまご近助さん事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		島根	65351	

事業の概要									
事業の概要		宮前区ご近所情報サイト「みやまご近助さん」を運営し、町内会・自治会等の地域活動情報や宮前区版地区カルテの情報を町丁ごとに整理し、幅広く発信します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業			
		令和3年度	—						
地域の課題と現状		宮前区には豊かなコミュニティ活動及び市民活動の歴史があるものの、活動の継続発展及びコミュニティ施策の推進には、若い世代の参画が課題となっています。このため、小地域における町内会・自治会をはじめとした様々な地域の活動情報を定期的に発信するWebサイト「みやまご近助さん」の運営・保守や改修を実施します。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,260	1,147						
財源内訳	国庫支出金	0	0						
	市債	0	0						
	その他特財	0	0						
	一般財源	1,260	1,147						

計画 (Plan)	
事業の目的	地域の新たな担い手である子育て世代が町内会・自治会等の地域活動情報を小地域単位で発信することで、同じ子育て世代に対して、地域活動への関心や参加を促し、より身近な地域の強みや課題を区民と共有しやすいサイトをめざしていきます。
今年度の事業の取組内容	システムの運用・保守、サイト訪問者のユーザビリティ向上や運用業務の効率化・円滑化等のためのシステム改修

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	宮前区ご近所情報サイト「みやまご近助さん」を運営し、町内会・自治会等の地域活動情報や宮前区版地区カルテの情報を幅広く発信しました。サイトのユーザビリティ向上や情報更新等の運用業務の効率化を図るため、システム改修を行いました。また、令和4年度は次年度以降の既存システムやコンテンツ改修等の検討における基礎情報とするため、操作状況のモニタリングやヒアリングによるユーザビリティテストを行いました。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	目標					
		実績					
	2	目標					
		実績					
3	目標						
	実績						
4	目標						
	実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけが5類感染症に移行され、地域の様々な行事やイベントも再開する傾向にあります。サイトのターゲットでもある子育て世代も含めた区民も地域活動への興味・関心が高まると考えられます。この機会を活かし、地域活動への参加を促せるような情報提供の検討が必要です。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	町内会・自治会をはじめとした地域活動等への参加を促すために、今後も子育て世代を含む区民に情報提供・発信する必要があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	サイト経由での町内会・自治会への加入申込みがあることから、一定程度の成果が上がっていると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	既存システムやコンテンツ改修の検討をあわせて、今後の成果の向上に向けて事務改善等の検討をしていく予定です。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 子育て世代をはじめとした区民の地域活動等への関心や参加を促すとともに、身近な地域について考えるきっかけとなるよう、引き続き「みやまご近助さん」の運営を継続します。また、今まで以上に効果的かつ効率的な取組となるよう、既存システムやコンテンツ改修の検討を進めていきます。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	30	26	15	05	健康づくり支援事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			695130		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域支援課			三島	65522

事業の概要										
事業の概要		健康づくりに関する情報や地域の健康づくりの活動の場についての情報を発信し、区民の健康づくりの実践を支援します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域の輪・健康づくり事業		
		—		—						
地域の課題と現状		宮前区は、男性の平均寿命が82.4歳、女性の平均寿命が88.4歳(平成27(2015)年国勢調査)といずれも全国10位です。また、全高齢者に対し、介護保険で要支援以上の認定を受けている高齢者の占める割合が17.5%(令和2(2020)年3月末現在)と市内で最も低いなど、元気な高齢者が多いまちです。この特長を維持していくためには、高齢者に加え若年層に対しても健康づくりの大切さを伝えていく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	251	190							
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		0	0							
		251	190							

計画 (Plan)	
事業の目的	高齢者だけでなく若年層も対象として、健康づくりに関する情報や地域の健康づくりの活動の場について情報発信し、区民が地域で主体的に健康づくりに取り組めるようにします。
今年度の事業の取組内容	高齢者が身近な地域で健康づくりや住民同士の交流に取り組めるよう、地域の活動の場に関する情報発信を行います。また、昨年度制作した「だいきメロコス体操」を活用し、若年層も含めた健康づくりと多世代交流に取り組みます。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		ボランティアグループとも連携しながら「だいきメロコス体操」を活用し、公園体操と近隣保育園との交流や市民広場での体操会など、若年層も含めた健康づくりと多世代交流に取り組みました。また、「みやまえシニアのためのいきいきマップ」を作成し、地域で開催されているサロンや利用できる施設について情報発信しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	「みやまえシニアのためのいきいきマップ」の作成	目標	4,000				
				実績	2,000				
	2			目標					
				実績					
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更される予定であり、変更を前提とした基本的な感染対策の考え方についても新たな取組が示されているところです。今後はこれらを踏まえて、地域での健康づくりや交流に取り組んでいく必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(5年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	「新しい生活様式」に代わる“新たな健康習慣”を実践しながら健康づくりに取り組む必要があることから、事業のニーズは薄れていないと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	「だいきメロコス体操」の動画の視聴回数が増加していることに加え、作成した冊子の配布が進んでいることから、一定の成果が上がっていると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	発信する情報の更新や情報発信の方法の見直し等による改善を進めていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
新型コロナウイルス感染症をはじめとする健康に関する社会環境の変化に対応していく必要があることから、事業の目的や方向性は維持するものの、発信する情報の内容や情報発信の方法等を見直し・改善のうえ継続することが適切と考えられます。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	15	10	地域包括ケアシステム推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		山本	65512	

事業の概要

事業の概要		地域住民や町内会・自治会、民生委員児童委員、保健・医療・福祉関係機関、ボランティア団体など地域内の多様な主体と連携・情報共有する協働の取組を推進するとともに、区役所内各部署間の連携も強化し、地域包括ケアシステムを推進します。								
実施期間		事業開始年度 平成28年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域の輪・健康づくり事業		
地域の課題と現状		地域包括ケアシステムの推進にあたり、区民や区役所職員・関係団体の意識づくり、連携強化が必要です。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	2,916	1,883							
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		0	0							
		2,916	1,883							

計画 (Plan)

事業の目的	地域包括ケアシステムの推進に向けて、区民や区役所職員の意識醸成と関係団体の連携強化を図ります。
今年度の事業の取組内容	新型コロナウイルスの感染症の状況を踏まえ、対面やオンラインなど適切な実施手法で講演会等を実施するとともに、庁内外の多様な主体と連携した様々な取組を通じて、地域包括ケアシステムの意識醸成と啓発を図ります。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	地域の集いの場におけるワークショップ等において講師派遣を実施するなど、地域包括ケアシステム推進につながる取組を実施しました。また、ミニ講演会、障害の社会モデルを体感できる「バリアフルレストラン」、車いす・高齢者・妊婦等の「体験コーナー」などの内容を盛り込んだ地域包括ケアシステム推進イベントを開催し、区民の地域包括ケアシステムへの意識の醸成を図ったほか、地域包括ケアシステム啓発マンガを新たに作成し、地域包括ケアシステムの普及啓発を行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	地域包括ケアシステム推進に関する講演会等の開催	目標	1				回
				実績	1				
	2			目標					
				実績					
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	急速な高齢化が進む中、誰もが安心して住み慣れた地域や自らが望む場で生活していくためには、地域住民や町内会・自治会、民生委員児童委員、保健・医療・福祉関係機関、ボランティア団体など地域内の多様な主体の取組とともに、主体間の緊密な連携が求められています。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	行政主導でのワークショップ開催から、希望する団体へ随時講師を派遣する形に方法を見直したところ、団体のニーズに沿った内容の支援を数多く実施することができるようになりました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民の誰もが安心して住み慣れた地域や自らが望む場で生活していくためには、今後も区内における地域包括ケアシステムの自助・互助に対する意識づくりや関係団体との連携が必要となるため、必要性は高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域づくりへの関心喚起・課題の共有・つながりづくりのきっかけとして、一定の成果があったと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	関係機関等と連携しながら、より効果的な支援方法等に関する検討を進めています。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	新型コロナウイルス感染症により活動を休止する団体等がありましたが、より多くの関係機関や地域活動団体、区民の方々が多様な連携を進めて活動に主体的に取り組めるよう、地域情報などに基づき、地域のニーズや地域課題に対応した活動のきっかけづくりの支援に向けた啓発を強化しつつ、事業を継続することが適切であると考えられます。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	15	15	しあわせを呼ぶコンサート開催事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		竹原	65358	

事業の概要									
事業の概要		障害者が出演するコンサートを開催し、交流と相互理解を深め、こころのバリアフリーや障害者の自立支援・社会参画の拡大を目指す。							
実施期間		事業開始年度 平成12年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域の輪・健康づくり事業	
地域の課題と現状		毎年、本コンサートの実施に向けて、宮前区内の障害者施設は、宮前区障害者施設・作業所等連絡会として連携して活動し、自立支援と社会参画の推進のため、障害者の活動支援に取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響により、2年連続中止となっていました。本年で第24回目となり、地域に広く定着した事業ですが、区役所、連絡会及び実行委員会による連絡調整を一層、密にししながら事業の安定的継続へ取り組みます。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	2,531	30						
	国庫支出金	0	0						
	市債	0	0						
	その他特財 一般財源	0 2,531	0 30						

計画 (Plan)	
事業の目的	毎年、本コンサートの実施に向けて、宮前区内の障害者施設は、宮前区障害者施設・作業所等連絡会として連携して活動し、自立支援と社会参画の推進のため、障害者の活動支援に取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響により、2年連続中止となっていました。本年で第23回目となり、地域に広く定着した事業ですが、区役所、連絡会及び実行委員会による連絡調整を一層、密にししながら事業の安定的継続へ取り組みます。
今年度の事業の取組内容	実行委員会による検討を重ねて、第一部:宮前区内の障害者施設・作業所の利用者の方々による合唱、第二部:一流の演奏家によるゲストステージとして構成し、併せて、市民館ロビーにおいて各施設での手作りの食品・作品等を展示販売し活動紹介を行います。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		コロナウイルス感染症の拡大の影響により、コンサートの開催については休止にしました。その中で次回の実施に向け、3回打ち合わせを行い、「コロナ禍での施設のイベントの実施状況」を把握し、「これまでのコンサートの課題整理」を行い、今後、障害のある方の感染対策を検討していくこととしました。また、歌を歌うことの楽しさを改めて感じてもらうよう、対応可能な施設(1施設)で「第九」の練習を実施した。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	目標								
		実績								
	2	目標								
		実績								
	3	目標								
実績										
4	目標									
	実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		ノーマライゼーションの広がりの中で、区民をはじめ地域に暮らし集う方々の相互理解と交流を深め、バリアフリー社会の構築と障害者福祉の増進に向けて、音楽を愛する区民の賛同を受けて地域では定着したコンサート事業となっています	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 28 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		事業の安定的継続へ向け、区役所・連絡会及び実行委員会による連絡調整を一層、密にするとともに、委託業務が円滑に行われるよう仕様書内容を精査しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	他に例を見ない宮前区独自の障害者福祉事業として実施してまいります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	コロナウイルス感染症の状況による影響が大きいが、開催が可能な状況になった場合には、合唱参加者、来場者ともに安定した実績を得ています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	事業の安定的継続へ向け、区役所及び実行委員会による連絡調整を一層、密にししながら事業を執行してまいります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I 宮前区の障害者福祉事業として、地域に広く定着しており、区役所及び実行委員会による連絡調整を一層、密にししながら事業の安定的継続へ取り組んでまいります。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	05	子育て情報発信事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課			白髭	65513

事業の概要									
事業の概要		子育て情報を冊子やWeb、SNSを利用して発信をすることで、子育て世代の孤立化や育児に対する不安の軽減を図り、区民同士が助け合い、安心して子育てができるよう支援します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費				
地域の課題と現状		出生数は減少傾向にあるものの、宮前区は0歳から14歳までの人口が多く、子育てに関する最新の情報を分かりやすく提供し、子育て世代の孤立感や育児不安を解消して、安心して子育てができる環境を整える必要があります。また、フェイスブック及びツイッターに加え、「みやまえ子育てガイドとことこ」冊子内に宮前区の子育て情報発信に関する電子媒体のQRコード等を掲載するなど、様々な広報媒体の特性を活かして効果的な情報発信を行う必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,202	1,032						
財源内訳	国庫支出金	0	0						
	市債	0	0						
	その他特財	240	240						
	一般財源	962	792						

計画 (Plan)	
事業の目的	多様な広報媒体を活用することで、宮前区内の子育て世代の育児の孤立化の防止や育児不安の軽減を図ります。
今年度の事業の取組内容	みやまえ子育てガイド「とことこ」2022-2023を発行するとともに、Web版「とことこ」の情報整理を行い、発信情報内容の更新を行います。また、子育てに関わる内容をツイッター、フェイスブック等のSNSで広く発信します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		●子育て情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」の改訂及び印刷を行い、7,000部発行しました。また区役所、子ども文化センター等に配布を行いました。 ●ソーシャルネットワークサービスのフェイスブック及びツイッターによる情報発信を行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	活動指標	冊子版みやまえ子育てガイド「とことこ」の発行	目標	7,000				部	
				実績	7,000					
	2	成果指標	SNSによる子育て情報の発信(フェイスブック等のフォロワー数)	目標	1,430				人	
				実績	1,431					
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		情報発信の選択肢が多岐にわたる中、より効果的に周知できる広報を検討していく必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 30年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		子育て情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」を子育て当事者、障害支援に携わる専門家、子育て中の外国人市民を含む公募の編集会議を立ち上げ、区民の意見を取り入れ大規模に改訂しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民の意見を反映した冊子は、子育て当事者から支援者まで幅広く活用されています。またフェイスブック等の電子媒体は、いつでも閲覧でき、時宜に合った効果的な広報ができるため、さらなる活用の可能性があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	子育てガイドは、子育て当事者の意見を大きく反映して改訂し、これまで以上に活用されるようになっていました。またフェイスブック及びツイッターの閲覧数が増加しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	今後も状況に応じ効率的・効果的な手法を検討し、情報発信をしていく必要があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 印刷物については、部数の適正化を図りつつ、適宜、内容の見直しを実施し、発行します。また、電子媒体については、各ツールの特性を活かしたさらなる活用を図ります。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	10	宮前区子育て支援事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695000		地域みまもり支援センター保育所等・地域連携担当		山下	65706	

事業の概要										
事業の概要		●公営保育所が中心となり、区内民間保育所や地域の人材、関係機関と連携し、子育て支援拠点の充実を図りながら、子育て支援事業を展開しているが、育児力の向上と孤立化を防ぐための仲間づくりができるように乳幼児を持つ家庭に対し、子育て支援事業や支援施設の利用促進等を図ることを目的に、子育て支援に関わるリーフレットを作成し、子育て世帯が必要とする情報提供を行う。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費					
		—	—							
地域の課題と現状		子育て家庭の転入者が多く、0～2歳児の在宅での子育ての割合が高い中、子育てに関する相談が増加していることから、育児への不安や孤立感を抱きながら子育てをしている家庭が多いことがうかがえ、在宅の子育て家庭にむけた子育て支援事業の充実を図るとともに情報提供による利用促進を図る必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	184	152							
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		0	0							
		184	152							

計画 (Plan)	
事業の目的	安心して子育てができる環境づくり、子育てを支援する体制づくり、子どもが健やかに育つ環境づくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	地域子育て支援関係リーフレット等の作成 子育て支援情報発信 / 地域親子向け子育て支援事業実施

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		地域の子育て支援事業を集約したエリア別の情報チラシ「あそびにおいて！」を新たに作成することで、情報発信を充実を図りました。また、情報発信を活用し、利用促進を図りながら子育て支援につながる各種事業を実施しました。さらに区内保育の質向上のため連携連絡会議や様々な研修を開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、オンラインの活用などに取組み、対面交流を避けながら可能な事業を実施しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	成果指標	区内地域子育て支援センターの利用者数	目標	48,000				人
				実績	54033				
	2	活動指標	SNS等での情報発信数	目標	150				回
				実績	234				
3	成果指標	子育て支援事業参加者数(申込者数)	目標	500				人	
			実績	424					
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域における育児力の向上に向けた子育て家庭への支援の強化が求められています。また、民間保育所の増加に伴う保育の質の確保などのため、研修等を通じた区内保育所等への支援が求められています。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 4 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		予算管理と執行体制を見直すため、向丘出張所のキッズコーナーに関する予算の整理を行いました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子育て家庭の不安感や孤立感の軽減に則した事業実施、情報発信は今後も必要であり、重要と考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域子育て支援センターの利用者数及びSNSでの情報発信は一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	各種申請やアンケート等、オンラインを活用することで、事務手続きや業務改善を進めていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
・子育て世帯の育児の孤立化の防止や育児不安についての軽減に向け、より効果的な地域支援につなげていけるよう、子育てに関わる施設等との連携強化、情報発信に取り組めます。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	20	子ども包括支援事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			695000		地域みまもり支援センター学校・地域連携担当			河野	65703

事業の概要										
事業の概要		「こどもサポート南野川」では、不登校・引きこもりなどの課題を持った子供たちと保護者の居場所づくりや生活・進路指導など、子育て支援の拠点として、就学児童から18歳までの子どもとその保護者を対象とした子育て支援を行います。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業					
		平成21年度	—							
地域の課題と現状		核家族化の進行と育児不安を抱える親、不登校やひきこもり、そして社会に適応できない子どもとその保護者の増加など、子ども子育て環境は大きく変化しており、課題を持つ子どもたちの居場所づくりや生活支援、相談支援など、包括的な子ども子育て支援を進めていく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源 内訳	事業費	5,382	5,387						
		国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		0 5,382	0 5,387							

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもの成長に合わせたトータルサポートの実現や、課題を持つ子どもたちへのきめ細やかな対応による不登校・引きこもり状態の長期化の予防などを地域社会の課題として捉え、行政、地域、関係機関が連携して問題解決を目指します。
今年度の事業の取組内容	課題を持つ子どもたちの居場所づくり、生活・学習支援を業務委託により実施します。 生活・学習支援(常時)、相談業務(常時)、運営会議(年2回)、保護者の会、進路学習会、情報交換会、見学会

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> 学校担当者会1回、学校等関係機関との情報交換会4回、保護者の会として「進路について考える会」や個別相談を実施 各教科の学習指導、理科教室、進路学習等実施 農作業や体験学習、ふれあい活動の実施 								
数値で把握することが可能な取組		指標分類		指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
		1	活動指標	運営会議	目標	2				回
			実績		2					
		2	成果指標	情報交換会	目標	4				回
			実績		4					
	3	成果指標	こどもサポート南野川利用人数 (不登校支援に係る小・中・高校生延べ利用人数)	目標	1400				人	
	実績		1331							
	4			目標						
	実績									

評価 (Check)	
事業を取り巻く社会環境の変化	不登校は、学校における友人関係や学業不振等のほか、本人の不安・抑うつ傾向、家庭の問題等、学校以外の要因が絡み合っており、増加傾向にあります。その背景が多様・複雑であることから、児童相談所、医療機関等の関係機関と連携し、家庭の状況や本人の気質等を把握した上で、適切な支援を行う必要があります。
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 2年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	所管課を地域ケア推進担当から学校・地域連携担当に変更し、学校との情報共有と連携の一層の強化を図ることで、不登校になった児童生徒へのよりきめ細やかな対応や支援を行えるようになりました。令和2年度は医療機関との連携を図り、カンファレンスを実施しました。

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	いじめや不登校、家庭の環境の変化、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う社会環境の大きな変化等、児童生徒を取り巻く状況は深刻化しており、児童生徒のみならず家庭教育に悩みを持つ保護者への教育相談の必要性が増していると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	利用人数については、前年度に小学校及び中学校を卒業した児童生徒が多いことから目標値に届きませんでした。不登校に関する相談には、学校生活や家庭で児童生徒・保護者が抱える様々な課題が背景や要因としてあることから、引き続き学校との連携及び関係機関との連携により適切な支援を行うことで課題の解決につなげていきます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託団体と協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		不登校等の子どもが抱えている問題は、多様化・深刻化する傾向にあり、様々な悩みを抱える児童生徒一人一人に対して、きめ細かく対応する必要があることから事業の目的や方向性を維持したまま、学校や関係機関と連携を強化しながら継続することが適切であると考えられます。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	30	友好都市交流事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		松井	65351	

事業の概要									
事業の概要		平成8年度から開始した長野県佐久市との友好都市交流事業として、宮前区の子どもたちに長野県佐久市での自然体験を通じて里山の保全や都市農業の重要性などを学んでもらう取組をしていましたが、コロナ禍のため令和2年度以降は事業を中止しており、今年度は事業の見直しを行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業			
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区には比較的多まりの緑が存在しているものの、全市的には樹林地や農地は減少傾向にあり、子どもたちが自然体験や農業体験をすることを通じて、将来に向けて里山や都市農業などの保全について理解を深めてもらう必要があります。 ●コロナ禍のため2年間事業を中止しており、今後についても見直しは不透明な状況です。 ●上記のほか、事業を取り巻く状況を踏まえて、今後の事業実施について見直しを必要とします。 							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	9	0						
	国庫支出金	0	0						
	市債	0	0						
	その他特財 一般財源	0	0						

計画 (Plan)	
事業の目的	交流を進めることで、両都市の友好関係を深めると共に、子どもたちに宮前区の魅力である豊かな自然や観光資源などについて再認識してもらい、地域への愛着を育んでいくことを目的として、これまで事業を実施してきましたが、現在の社会状況などを踏まえて事業の見直しの必要とあります。
今年度の事業の取組内容	現在の社会状況など、事業を取り巻く状況を踏まえ、今後の事業実施について見直しを行います。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	両都市における友好関係の継続や緑の保全等に対する理解促進は依然として求められるものの、地域団体等による佐久市との交流や緑の保全活動が実施されており、事業に対する必要性は必ずしも高いものではありません。また、コロナ禍により先々の社会状況の見直しも不確実であったことから、事業の見直しを行い、令和4年度をもって事業終了としました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	目標						
		実績						
	2	目標						
		実績						
	3	目標						
		実績						
	4	目標						
実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	両都市における友好関係の継続や緑の保全等に対する理解促進は依然として求められるものですが、現在の社会状況や地域課題としての優先度などを踏まえ、従来の事業内容については見直しの必要とあります。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 4 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	平成30年度に物産観光交流事業を宮前区民祭実行委員会の事業として実施することになりました。令和4年度に今後の事業のあり方について見直しを行いました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	b
	評価の理由	両都市における友好関係の継続や緑の保全等に対する理解促進は依然として求められるものの、地域団体等による佐久市との交流や緑の保全活動が実施されており、事業実施に対するニーズは必ずしも高いものではありません。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	コロナ禍により社会状況の先行きが見通せなかったため、昨年度は事業は実施せず、見直しの期間としました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	今後の事業のあり方を見直しを行い、事業終了としました。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III 現在の事業を取り巻く状況等を踏まえ、令和4年度をもって事業終了とします。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	40	外遊び活動支援事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		山本	65512	

事業の概要

事業の概要		区内の自然環境や身近な公園を利用し、子どもたちが自然と触れあう様々な機会を提供することで、自然に関心を持ち、大切にすることを育みます。また、日常と異なる体験をするなかで、参加した仲間との連帯感や、地域と身近な自然に対する慈しみの気持ちを持つきっかけづくりとします。さらに、自然を守り育てる活動など、地域に根差した活動に対する保護者等の興味を喚起させることを通じて、地域包括ケアシステムの推進につなげていきます。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業	
		—		—					
地域の課題と現状		区内で子どもたちが自由に遊べる場が減少しており、現在ある公園・緑地を「子どもたちの自由な遊びの場」として活用することが必要です。また、子どもからお年寄りまで、幅広い世代のつながりづくりが求められている宮前区においては、「冒険遊び場」が多世代のつながりの場として機能することが見込まれます。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	659	611						
	財源内訳	国庫支出金	0	0					
		市債	0	0					
	その他特財	0	0						
	一般財源	659	611						

計画 (Plan)

事業の目的	子どもたちの自由な遊びの場づくりを通じ、「遊び」を中心とした多世代交流を目指します。
今年度の事業の取組内容	必要な遊具や物品の貸出、月1回のネットワーク会議の開催等の地域主体の活動支援、普及啓発のためのシンポジウム、ブラッシュアップ研修の開催及び広報用リーフレットの配布をします。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	登録されている6団体が各公園で定期的に冒険遊び場を開催し、多世代交流の場として活動を行いました。また、出張冒険遊び場の取組の一つとして、建設緑政局等と連携し菅生緑地における「わんぱくの森」事業実施の支援を行いました。さらに、シンポジウムを1回開催するとともに、広報資料として作成したリーフレットを関係機関に配布するなど、普及啓発に関する活動を行いました。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 活動指標	冒険遊び場ネットワーク会議の開催	目標 12 実績 13				回
	2 活動指標	シンポジウムの開催支援	目標 1 実績 1				回
	3		目標 実績				
	4		目標 実績				

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	子どもたちの成長や地域コミュニティの活性化の果たす役割など、その成果について地域住民等から一定の理解が得られていますが、多世代交流の場として、より一層の普及が求められています。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	出張冒険遊び場を実施していた公園で、冒険遊び場の登録団体としての活動を始めました。今後も新たな公園での出張冒険遊び場開催に向けて取り組んでいきます。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	公園の利用活性化を促し、子どもの育ちを支援する活動に貢献しており、事業のニーズが高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	継続的な活動及びシンポジウムの開催により、コミュニティの活性化にも繋がっていると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	冒険遊び場の実績とノウハウを持つ区内の市民団体に支援事業の委託を行っており、民間事業者への委託では得られない高い効果を最低限の経費で実現しています。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	幅広い世代の憩いの場として公園の活用が進むなかで、子どもの自由な発想や遊びを支援できるよう必要な改善や見直しを進め、地域の理解を得ながら継続していくことが望ましいと考えられます。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	45	子ども子育て支援事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		竹内	65513	

事業の概要										
事業の概要		子育てを地域社会全体で支える仕組みづくりの促進に向け、地域の関係者が連携し、0歳から18歳までの子どもとその保護者の支援体制を強化します。さらに、子ども・子育てに関する問題の解決・改善および子どもの登下校時の事故・犯罪から守るための意識向上を図るために、関係団体間による会議を開催することで、相互連携やネットワークの強化を図ります。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業					
地域の課題と現状		子育て世代の転入が依然として多いうえ、宮前区が坂の多い地形であることから、子育て支援の場のアクセシビリティ向上が求められます。また、子育てに関する情報を求める声も多いことから、区内子育てグループおよび区内施設と連携し、子育て世代への情報提供を行っていくことが必要と考えられます。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	300	100							
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		0	0							
		300	100							

計画 (Plan)	
事業の目的	区内の子育て世帯や子どもたちが抱える課題等について、子育て支援の関係者と情報共有を行い、子どもの成長を地域で見守る体制の構築を目指します。また、地域内でのつながりを求めている親と、区内の子育てグループ・子育て支援関係者とのマッチングを図ります。
今年度の事業の取組内容	「子ども・子育てネットワーク会議」を開催し、乳幼児から青少年期の子どもを取り巻く課題を把握します。また、子育て中の世帯と区内の子育てグループなどのつながりの場として、「うるかむクラス」をはじめとしたイベントを開催します。これらの取組を通じ、区内の子育て支援関係者の顔が見える体制の構築を目指します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		子ども・子育てネットワーク会議及び子ども安全・安心協議会を開催し、関係機関の連携強化に向けて取組の情報共有を行いました。また、子ども・子育てネットワーク会議の実務者会議として位置づけられている宮前区子育て支援関係者連絡会においては、「うるかむクラス」「子育てグループ・サロン・赤ちゃん広場等交流会」などのイベントを実施し、子育て世代の交流の場づくりを行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	活動指標	子ども・子育てネットワーク会議の開催	目標	2					回
				実績	2					
	2	活動指標	子ども安全・安心協議会の開催	目標	2					回
				実績	2					
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		子育て世帯の転入が多い宮前区において、子育て中の区民に対する情報提供、及び親同士・親と地域の子育て支援団体等との交流の場づくりは継続して必要であると考えられます。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 29年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		イベントを事務局と一部の実施団体のみで担っている執行体制の見直し及び広報の見直しを実施しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	コロナ禍を経た社会状況において、地域ぐるみの子育て支援に関するニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	子育て中の区民同士の交流のみならず、区内で子育て支援の取組を実施している団体同士の交流もイベントを通じて行われており、区民全体で子育てを支援する体制の構築に向け効果的であると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	執行体制の見直しについては直近が平成29年度であり、改めて執行体制について検討する必要があると考えられます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
区内各地域における子育て支援の取組状況を把握し、イベントの運営等につなげる必要があるため、各種会議等を通じて子育て支援団体とのネットワークを活用した情報共有を行いながら取組を推進することが望ましいと考えられます。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	05	安全安心まちづくり推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			690000		危機管理担当		岡島	65352	

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ●安全安心に関わる様々な分野の団体が構成される「宮前区安全・安心まちづくり推進協議会」を軸として、区民、地縁団体、事業者、行政機関などの連携・協働により、それぞれの対策を推進し、区民の暮らしやすい環境づくりに取り組みます。 ●パトロール用資機材の貸与や落書き消し用品の提供を行い、地域の活動を支援します。 ●要望の多い、通学路等における交通安全対策として、啓発看板等の掲出等を行います。 ●「神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例」や「市安全・安心まちづくり推進計画」を基に、宮前区安全・安心まちづくり推進協議会と協働し推進します。 							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業費	
		—		—					
地域の課題と現状		地域での結びつきが希薄になっていく中、自分たちのまちは自分たちで守るという意識を浸透させ、地域内の結びつきを強くするとともに、地域での活動の推進を図り、安全で安心なまちづくりを進めていく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	1,695	1,526						
	国庫支出金	0	0						
	市債	0	0						
	その他特財	0	0						
	一般財源	1,695	1,526						

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●区民誰もが安全で安心して暮らせるまちを形成していきます。 ●地域防犯活動を支援するため、地域の自発的な活動を支援します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防犯活動への支援 ●地域パトロールや落書き消し等の支援 ●通学路を中心とした啓発看板の掲出等による交通安全対策の推進 ●啓発看板等の維持管理 ●中学生を対象としたスクエアストレート方式交通安全教室の実施

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> ・中学生を対象としたスクエアストレート方式交通安全教室については、目標どおり3校で実施。 ・保育園、幼稚園及び小学校における交通安全教室については、目標どおり75件実施。 							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1 成果指標	スクエアストレート方式交通安全教室の実施	目標	3	3	3	3	件	
			実績	3					
	2 成果指標	保育園・幼稚園及び小学校における交通安全教室の実施	目標	75	75	75	75	件	
			実績	75					
3		目標							
4		目標							
		実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		社会経済活動の再開により、交通事故発生件数が増加することも予想され、より継続的な交通安全教育が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		<ul style="list-style-type: none"> ・スクエアストレート方式の交通安全教室の開始(H27～継続中) ・GIGA端末などによるWeb会議システムの利用や、実施マニュアルの見直し等、感染症対策に配慮した交通安全教室の運営(R1～継続中) 	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	交通安全教室の申込数は依然として多く、地域の安全・安心に係るニーズは継続して高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	スクエアストレート方式交通安全教室及び保育園・幼稚園及び小学校における交通安全教室について、計画通りに実施しており、成果があったと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	関係部署や団体、委託業者等と連携を行い、社会環境の変化や地域ニーズも踏まえつつ、見直し・改善を進めていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 区民の安全・安心に対する関心は継続して高いことから、事業の目的や方向性は維持しつつ、見直し・改善のうえ継続することが適切であると考えられます。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	15	防災意識普及啓発事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			690000		危機管理担当			本間	65361

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ●各種の防災意識普及啓発行動(防災フェアの実施等)を行い、区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせることにより、防災意識の向上を図ります。 ●地域で防災活動の中心となる地域防災リーダーの育成を目的とした「防災推進員養成研修」及び養成研修を受講した防災推進員の更なる知識・能力向上を目的とした「防災推進員フォロー研修」を実施することにより、地域の防災力向上に繋げます。 							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業費			
		平成20年度	—						
地域の課題と現状		大規模災害発生時の被害を最小限に抑えるため、区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせ、防災意識を向上させる取り組みを進めていく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,441	1,925						
	財源内訳								
	国庫支出金	0	0						
	市債	0	0						
	その他特財	0	0						
	一般財源	2,441	1,925						

計画 (Plan)	
事業の目的	区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせることにより、防災意識の向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	地域防災リーダーの育成を目的とした「防災推進員養成研修」及び養成研修を受講した防災推進員のさらなる知識・能力向上を目的とした「防災推進員フォロー研修」を実施。さらに、地域における防災啓発イベントとして、「防災フェア」を実施。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		・11月5日と12月4日に防災フェアを開催 ・11月6日に防災推進員養成研修、令和5年1月19日と28日に防災推進員フォロー研修を開催								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	活動指標	イベント(宮前区防災フェア)の開催回数	目標	1	1	1	1	回	
				実績	2					
	2	活動指標	防災推進員養成研修の開催回数	目標	1	1	1	1	回	
				実績	1					
	3	活動指標	防災推進員フォロー研修の開催回数	目標	2	2	2	2	回	
実績				2						
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域における防災意識普及啓発へのニーズは高く、継続的な啓発事業の展開が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和4年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		みやまえご近助ピクニックとの同時開催により、様々な主体との連携促進と多世代交流を図りました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	いつ起こるか分からない災害に対して、地域防災力を高めるための防災意識普及啓発行動及び地域における防災活動の中心を担う区民の育成・支援のニーズは高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	防災フェア及び防災推進員に係る研修を計画どおり開催し、防災に関する意識と知識の向上を図ったことにより、一定の成果があったと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	関係部署や団体、委託業者等と協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	Ⅰ. 現状のまま継続 Ⅱ. 見直し・改善のうえ継続 Ⅲ. 事業終了	Ⅱ
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 区民の防災に対する関心が高く、引き続き地域防災力の維持・強化に向けた区民への普及啓発行動や地域人材の育成・支援の取組が必要です。事業の目的や方向性は維持しつつ、具体的な事業の計画・運用面での見直し・改善を図りながら継続していくことが適切であると考えます。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	20	地域防災力向上事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			690000		危機管理担当		加藤	65361	

事業の概要										
事業の概要		<p>●宮前区の防災力向上に向け、防災に関する必要な事項を検討し、情報の共有化を図るため、宮前区を管轄する公共公益機関及び関係団体等を構成員とする宮前区地域防災連絡会議における検討を進めます。所掌事項として、宮前区地域防災計画に関する地域防災力向上に向けた各種取組と連携に関すること及び地域防災力向上に向けた情報共有等を推進します。</p> <p>●大規模災害発生時の被害を最小限に抑える取組として、地域防災連絡会議各部会での課題・問題点の抽出とその対応検討の結果と、行政の災害対応力強化を目指して事業を進めます。中長期的な視野に立ち、各避難所に必要な備品を配備します。</p>								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業費		
		平成24年度		—						
地域の課題と現状		<p>公共公益機関及び関係団体を構成員とする宮前区地域防災連絡会議において、各機関の担当が代わることにより、取り組みや連携の強化、向上を行う必要があります。</p> <p>避難所滞在環境改善のため、必要な備品の配備が必要であるとともに、中長期的な視野に立って耐用年数に応じた入替やメンテナンス等も考慮する必要があります。</p>								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1,467	1,208							
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		0	0							
		1,467	1,208							

計画 (Plan)	
事業の目的	区内関係機関・事業者・地域団体等で構成される宮前区地域防災連絡会議及び各部会における課題の検証と検討を行い、地域防災力を向上します。
今年度の事業の取組内容	資器材の配置等による避難所の環境整備

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		<p>1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った</p>						
取組内容の実績等		・避難所備蓄エアマットの整備(10校)								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	避難所備蓄エアマット整備箇所数(全25箇所) で継続)	目標	10	10	10	10	箇所	
				実績	10					
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高齢化の進行や市民ニーズの多様化により、避難所における備蓄物品の充実が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(5 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		・避難所備蓄物品の充実(充電器)(令和5年度～)	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域防災力向上に向けて、地域住民の防災意識の高揚と行政の災害対応力強化の両面からアプローチしており、災害の激甚化により防災への関心も高く、ニーズは薄れていないと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	避難所備蓄物品の整備について計画どおり実施し、避難所の環境整備を進めたことにより、一定の成果があったと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	現在進行中の避難所備蓄物品の整備に続き、将来的な事業手法と展開については、社会環境の変化や地域ニーズも踏まえつつ、見直し・改善を進めていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
区民の防災に対する関心が高く、引き続き地域防災力の維持・向上のための取組が必要です。事業の目的や方向性は維持しつつ、具体的な事業の計画・運用面での見直し・改善を図りながら継続していくことが適切であると考えます。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	25	次世代まちづくり事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		まちづくり推進部企画課		高橋	65123	

事業の概要										
事業の概要		次世代につながる暮らしやすさの向上を意識した長期的な視点に立ち、地域住民・事業者・区役所との協同・連携により、宮前区の地域特性を踏まえた身近な生活課題の解決に寄与する地域主体の取組を支援します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業		
		平成27年度		—						
地域の課題と現状		地域を良くしたいと考える地域住民や地域貢献に意欲のある事業者等を区役所がつなぎ、それぞれの強みを活かした協同・連携を図ることにより、起伏に富んだ地形や高齢化の急速な進行といった宮前区の地域特性から生じる生活課題の解決につなげることが期待できます。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	0	0							
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		0	0							

計画 (Plan)	
事業の目的	次世代につながる暮らしやすさの向上に資する地域主体の取組を支援します。
今年度の事業の取組内容	坂が多い地区等に住む高齢者等の日常の買い物しやすくとともに、地域住民の見守り・支え合いにつなげるため、町内会館・自治会館等で地域住民が協力を得て行う出張販売会の開催に向けて、関係者間の合意形成を図ります。(新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、出張販売会の開催について適宜検討します。)

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		庁内の関係課、事業者、地域住民との連携により調整を重ね、関係者間の合意形成を図り、「市営高山団地集会所における住民主体の出張販売会」を毎週土曜日に実施していました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響等により令和2年度から休止しており、令和4年7月に協定を合意解約しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	活動指標	次世代につながる暮らしやすさの向上に資する取組の実現に向けて取り組んでいる地区の数	目標	1	0	0	0		
				実績	0					
	2			目標						
				実績						
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域住民・事業者・区役所との協同・連携により、それぞれの強みを活かして柔軟に課題解決を図る事業の特性を活かして、社会状況の変化に臨機応変に対応します。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 令和4年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		市営高山団地集会所における住民主体の出張販売会が終了。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	社会状況の変化に臨機応変に対応できる事業スキームであるため、ニーズは薄れないと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	市営高山団地集会所における住民主体の出張販売会が終了したため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	予算措置のない事業であるため、契約方法や仕様の見直しなどによる経費削減の余地はありません。また、協同・連携の手法により、関係者間の丁寧な合意形成を行って進める事業のため、効率性の追及はなまじいと考えられます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
		来年度以降も、引き続き身近な生活課題の解決に寄与する地域主体の取組を支援します。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	30	宮前区スポーツ環境整備事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691700		まちづくり推進部地域振興課			藤塚	65360

事業の概要										
事業の概要		西長沢公園多目的広場、鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の補修を行います。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業				
		—	—							
地域の課題と現状		屋外スポーツ施設の少ない宮前区では、より多くの区民がスポーツを楽しめる環境を整えるため、既存施設の補修・整備が必要です。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	460	453							
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		0	0							
		460	453							

計画 (Plan)	
事業の目的	鷺ヶ峰けやき公園多目的広場で区民が快適にスポーツを行えるよう環境整備を行います。
今年度の事業の取組内容	鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の補修を行います。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		鷺ヶ峰けやき公園の除草を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1				目標				
					実績				
	2				目標				
					実績				
	3				目標				
					実績				
	4				目標				
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		神奈川県内広域水道企業団が実施する耐震工事に伴う利用停止により新たな場所の検討、今後の整備方針について検討する必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	b
	評価の理由	西長沢公園については、耐震補強工事中におけるダスト舗装の必要はなくなります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	市民が安全にスポーツを行うことができているため、一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	西長沢公園の耐震補強工事後は、道路公園センターに業務移管の予定です。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の保守については、引き続き必要と考えられます。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	40	10	宮前区制40周年記念業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		まちづくり推進部企画課		滋野	65121	

事業の概要									
事業の概要		令和4年7月1日に宮前区は区制40周年を迎えることから記念事業を実施する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業費			
		令和4年度	令和4年度						
地域の課題と現状		宮前区のキャッチフレーズ「人が好き 緑が好き まちが好き」を踏まえて、これまで区民が大切に紡ぎあげてきた、人、緑、まちの“つながり”を区制40周年を契機にさらに強くするとともに、将来にも“つなげて”いく機運を盛り上げ、ミライの大好きなまちを区民と共に作り上げていくことを目指す。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,099	1,500						
	財源内訳	国庫支出金	0	0					
		市債	0	0					
	その他特財	0	0						
	一般財源	2,099	1,500						

計画 (Plan)	
事業の目的	令和4年を40周年記念イヤーとしてお祝いし、これまで育んできた地域の魅力を再発見するとともに、さらなる発展の契機とするため、「つながれ、ミライのまちへ」をテーマにさまざまな取組を展開する。
今年度の事業の取組内容	区制40周年のテーマ決定、区制40周年記念式典、協賛事業の募集、区制40周年冠事業の開催

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		区制40周年のテーマ決定、標語(みやまえいきいきまちづくり)の作成、区制40周年記念式典、協賛事業の募集、区制40周年冠事業の開催、メロコス体操・ダンスの普及、職員が40周年記念のTシャツ及び名札を着用しての啓発活動、区制40周年記念オリジナル婚姻届の作成、特設HPの作成、庁内掲示物の作成、クリアボトル・リフレクター・コットン巾着、缶バッジなどのノベルティの作成など。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	宮前区区制40周年記念式典		目標 1				
					実績 1				
	2				目標				
					実績				
3				目標					
				実績					
4				目標					
				実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区制40周年だけでなく、市制100周年も見据えた全市的な動きを考慮しながら、宮前区としての取り組みの方向性を検討する必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区制40周年という節目の年を、区民を巻き込んで盛り上げる必要があるため。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	節目である区制40周年を、区民を巻き込んで盛り上げることができた。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	区制40周年だけでなく、市制100周年も見据えた全市的な動きを考慮しながら、宮前区としての取り組みの方向性を検討する必要があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III 本事業は周年事業のため、当年度をもって終了します。
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	05	区役所庁舎エコ化事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691600		まちづくり推進部総務課			阿部	65111

事業の概要									
事業の概要		庁舎の省エネルギー化(照明設備のLED化)を推進することで、市民への省エネ意識を啓発するとともに、快適な庁舎利用及びサービス向上を行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区役所サービス向上事業			
		—	—						
地域の課題と現状		庁舎における節電対策が求められており、電力使用の大部分を占める照明について対策が必要となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,126	1,858						
財源内訳	国庫支出金	0	0						
	市債	0	0						
	その他特財	0	0						
	一般財源	2,126	1,858						

計画 (Plan)	
事業の目的	来庁者が省エネに関心を持っていただくのと同時に、より快適に庁舎を利用していただくようにします。
今年度の事業の取組内容	宮前道路公園センターの蛍光灯をLED化します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		道路公園センターの事務室、廊下、会議室についてLED化しました。 また、宮前区役所総合庁舎3階のフィルムを改修しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1					目標				
						実績				
	2					目標				
						実績				
	3					目標				
						実績				
	4					目標				
				実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		令和8年度または令和9年度に、現在の市民館・図書館が鷺沼駅前に移転する予定です。その後、宮前区役所も移転する予定です。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		移転を踏まえ適切に対応していきます。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	庁舎の省エネルギー化を推進し、また、LED化を行い照度が向上することで快適な庁舎利用サービスにつながっていると考えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区役所の消費電力は事業開始(平成22年度)から28%削減、向丘出張所の消費電力はLED化実施開始(平成31年)から2%削減されています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	新型コロナにより機器や部品の入手難といった影響があるため、LEDの仕様や施工場所の検討により効果的に事業を進められる可能性があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 新型コロナの影響を鑑みながら、適切な仕様や時期を検討しつつ、事業を継続することが適切であると考えています。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	10	みやまえロビーコンサート開催事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		竹原	65358	

事業の概要										
事業の概要		区民に親しまれる区役所をめざして、区役所2階ロビーまたは区内の行政施設で、質の高い様々なジャンルの音楽を提供するコンサートを行う。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区役所サービス向上事業		
		平成5年度		—						
地域の課題と現状		市民にとって区役所等の行政施設は必要な各種手続き等を行う場所となっており、親しみも希薄な状況にあります。区役所に対するイメージアップを図り、区民の行政に対する意識や地域への関心等の向上へつなげます。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1,562	1,100							
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		0	0							
		1,562	1,100							

計画 (Plan)	
事業の目的	主に区役所来庁者の事務手続き待ち時間等を音楽演奏によって潤いのあるひと時としていただくため、区民サービスの一環として原則ランチタイムコンサートとして開催します。音楽を通じて、行政施設に対する親近感を高めるとともに、地域コミュニティの拠点としての機能強化を図り、区民の憩いの場、交流の場として、気軽に、身近に上質な音楽と接することができるよう文化意識の向上につなげていきます。
今年度の事業の取組内容	毎月1回(4月、3月を除く年間10回)区役所2階ロビー等において、「みやまえロビーコンサート」を開催します。年間12回のうち区役所以外の区内行政施設においても巡回コンサートとして開催し、提供する音楽は上質で季節に応じた、また、幅広いジャンルのプロ又はそれに準ずる演奏者とする事で、コンサートの質を担保し、来場者の増加や区民の満足度を高めます。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		コンサートの実施に際しては、事前予約制とし、マスク着用をお願いするなど、新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、当初の予定どおり、5月から2月までの年間10回開催しました。(参加人数全10回 548人)							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 成果指標	みやまえロビーコンサート来場者数	目標	500	500	500	500		
			実績	548					
	2		目標						
			実績						
3		目標							
		実績							
4		目標							
		実績							

評価 (Check)	
事業を取り巻く社会環境の変化	音楽のライブ演奏による潤いのあるひと時を過ごすことは、市民生活の中で貴重な時間であり、また、区民サービスの一環としても区民から高い評価を得ている。今後も行政施設に対する親近感を高めるとともに、区民の憩いの場、交流の場として充実させてまいります。
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直直) 28年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	より上質で幅広いジャンルの音楽を区民に提供するため委託仕様書内容を精査しました。

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	音楽のライブ演奏による潤いのあるひと時を過ごすことは、市民生活の中で貴重な時間であり、また、区民サービスの一環としても区民から高い評価を得ている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	毎回安定した来場実績を得ており、非常に高い評価を得ている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	区民から高い評価を得ている事業のため、委託により事業を継続していく必要がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 区民サービスとして区民から高い評価を得ており、企画内容の充実に努めて事業を継続してまいります。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	20	バリアフリー推進事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691600		まちづくり推進部総務課			阿部	65111

事業の概要										
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ●平成15年度から地域課題対応事業にて事業を開始しました。 ●区役所・市民館の間にある市民広場は、転倒等による事故が発生する可能性があるため、破損や剥がれづらく、滑りづらい材質の路面材に改修することにより安全・安心に庁舎等を利用できることを目的とします。 								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区役所サービス向上事業				
		—	—							
地域の課題と現状		区役所・市民館の間にある市民広場は、築後40年が経ち、古いタイルは滑りやすく、転倒等による事故が発生する可能性があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1,961	1,802							
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		0	0							
		1,961	1,802							

計画 (Plan)	
事業の目的	市民広場利用者が安全・安心に庁舎等を利用出来ることを目的とします。
今年度の事業の取組内容	市民広場の一部を破損や剥がれづらく、滑りづらい材質の路面材に改修します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		区役所・市民館の間にある市民広場タイルの一部改修および宮前市民館の階段に鏡を設置しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1		目標							
			実績							
	2		目標							
			実績							
	3		目標							
			実績							
	4		目標							
実績										

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		令和8年度または令和9年度に、現在の市民館・図書館が鷺沼駅前に移転する予定です。その後、宮前区役所も移転する予定です。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		市民館・図書館、区役所の移転を踏まえ、適切に対応を行います。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない	
	評価の理由	来庁者が安全・安心に庁舎等を利用できるため、ニーズは高いと考えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている	
	評価の理由	事業を実施したことにより、階段踊り場の見通しが良くなり区役所利用者が安全に階段を通行できるようになりました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない	
	評価の理由	施工方法、施工箇所、仕様の変更等の見直しを行うことで、より効果的に事業を進められる可能性があります。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	取組みの見直し(施工方法、施工箇所、仕様の変等)を検討しつつ、事業を継続することが適切であると考えています。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	25	窓口サービス向上事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			693300		区民サービス部区民課			八木澤	65237

事業の概要										
事業の概要		来庁者が区役所で過不足なく必要なサービスの提供を受けることができ、かつ快適に利用していただくため、接遇研修会の実施によって職員の質の向上を図り、またサービス向上のためのワーキングチームを結成し、窓口サービスについての施策検討を行います。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区役所サービス向上事業				
		—	—							
地域の課題と現状		区役所で行う手続き等については、年々その取扱いが細分化されており、窓口で案内を行う職員の質の向上が必須となっています。また、窓口で快適に過ごしていただく環境の最適化も、必要なものと考えます。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	149	131							
	財源内訳	国庫支出金	0	0						
		市債	0	0						
その他特財 一般財源		0	0							
		149	131							

計画 (Plan)	
事業の目的	来庁者が、「窓口利用後にいかに気持ちよく後にしてもらえるか」の考えをもとに、①「接客サービス」、②「待合スペースや窓口の環境整備」の向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 転入者への各種手続き案内チラシの作成及び配布 ● 接遇研修会等の実施 ● ワーキングチームによる施策

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		ほぼ目標どおり達成できました。 (新型コロナウイルスの影響により待合ロビー内キッズコーナーは閉鎖中のため、絵本の補充は行いませんでした)							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	転入者への各種手続き案内チラシの配布	目標	100				%
				実績	100				
	2	活動指標	接遇研修会等の実施	目標	2				回
				実績	2				
3	活動指標	若手職員による「ワーキングチーム」の打合せ	目標	18				回	
			実績	18					
4	活動指標	待合ロビー内キッズコーナーへの絵本の補充	目標	3				冊	
			実績	0					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		窓口で求められるサービスの質は、年々より高いものを求められる傾向にあります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		2Fフロア各課への案内表示をわかりやすく修正するとともに見通しの悪い箇所に停止線を導入 保険年金課発券機案内を見やすく更新し、トイレ案内表示をカラー化しつつ表示箇所を追加 職員向けウェルカムセット(宮前区で初めて業務に従事する職員用)の更新	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	窓口サービスのより良い質への向上は、継続的に求められる状況にあります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	目標で設定した活動指標の設定値を達成しており、成果があったと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	ワーキングチームでの討議等により、今後もより良いサービスを提供するための改善を行っていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	Ⅰ. 現状のまま継続 Ⅱ. 見直し・改善のうえ継続 Ⅲ. 事業終了	Ⅱ
「来庁者にいかに満足してもらえるか」という窓口サービスの向上については、常に考えていかなければならない課題であり、そのための環境整備は必須事項であると言えます。新型コロナウイルス感染症に対する状況を踏まえ、安全かつ質の高いサービスの提供を目指して取り組みの強化を図ってまいります。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	30	区役所サービス向上推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691600		まちづくり推進部総務課		阿部	65111	

事業の概要									
事業の概要		●窓サッシ、窓ガラス改修・トイレ洋式化(1カ所)を実施し、来庁者にとって安全で快適な庁舎にします。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区役所サービス向上事業			
地域の課題と現状		震災等で窓ガラスが破損し破片が飛散した場合、ガラス付近を通りかかった利用者が被害を受ける恐れがあります。また、夏場は日光が入り込むことによる熱及び窓サッシ不具合による開閉不良により換気が出来ないことによる庁舎環境の悪化等の問題があります。区役所トイレについては2階以外の各階に和式便器が残っており、和式便器を使用することが難しい利用者が待たされる状況となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	2,350	1,899						
	国庫支出金	0	0						
	市債	0	0						
	その他特財	250	250						
	一般財源	2,100	1,649						

計画 (Plan)	
事業の目的	来庁者にとって安全で快適な庁舎にします。
今年度の事業の取組内容	(1)区役所南側の窓サッシ及び窓ガラスについて改修を実施します。(2)区役所1階女子トイレについて、和式便座1基を洋式便座へ改修します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		(1)和式トイレの洋式化 (2)2階フロア床案内標示改修								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	目標								
		実績								
	2	目標								
		実績								
	3	目標								
		実績								
	4	目標								
実績										

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		令和8年度または令和9年度に、現在の市民館・図書館が鷺沼駅前に移転する予定です。その後、宮前区役所も移転する予定です。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		市民館・図書館、区役所の移転を踏まえ、適切に対応を行います。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	すべての来庁者が快適で安心安全な庁舎利用が出来るための区役所サービス向上事業は必要とされています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	事業を実施した部分については、以前より来庁者にとって快適で安心安全な場所になっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	施設の劣化状況や来庁者及び職員の意見を参考に、取組みの見直し(追加等)を検討することで、庁舎がより快適で安心安全な場所になる可能性があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
施設の劣化状況や来庁者及び職員の意見を参考に、取組みの見直し(追加等)を検討します。		